

結婚の報告

中野
劇団

結婚の報告

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

田村

敦也

男

女

ジャズが流れている。バー。

敦也、カウンターで酒を飲んでいる。

男が店へ。

男 おー、お久しぶりです。

敦也 お久しぶりです。

男 最近忙しくてなかなかこれなくて。

男と敦也は常連同士。最近顔出してたどうだのやりとりを適当に。

男 今日はお連れさんは？

敦也 今日は……（来ない）。おひとりですか？

男 いえ。……もう来てると思ったんですけどね。（時計を見る）

二人はそれぞれ別の相手を待っている。

敦也 実はですね。結婚することになりました。

男 ほう。おめでとーございます。おめでとーございます！ お相手は？

敦也 いつも一緒に来てる……。

男 やっぱり。

敦也 その彼女のね、再婚なんですけど、彼女の息子と僕、同じ大学の同期やったんです。えええ？ そんな離れてるんですか？ 若そうに見えましたけど。お連れさん。美魔女言うか。美魔女いうたら年いってるとって意味ですね。若く見えましたけど。

敦也 二十離れてるんです。

男 あらま。へえ。じゃあお友達のお母さんと結婚するってことですよ。

敦也 そうなんですよ。

男 それはお友達ももう認めてくれたんですか。

敦也 いや……。

男 え？

敦也 今から言うんです。

男 ええ？

敦也 ここに呼んでるんです。

男 じゃあ三人で？

敦也 いえ、彼女は家において。僕と息子と二人で。

男 成程。ええ？ それは緊張しますね……。

敦也 もうね。

男 うわあ、どんな反応なんでしょうね。

敦也 ずっと友達やった奴に、おまえのお母さんと結婚することになったって言われた

ら。

男 ドキドキですよ。上手くいくといいですねえ。いやでも奇遇ですね。実はね、僕

も今日、結婚を報告するんですよ。今から、ここで。

敦也 ご結婚を？

男 ええ。

敦也 おめでとうございます。

男 ありがとうございます。

敦也 すごい偶然ですね。

男 そうですね。

敦也 来ましたね。

田村、登場。酔っている。

田村 ちーっす。

席につく田村。

田村 珍しいな。敦也の方から誘って来るって。何かあった？

敦也 ああ、うん。あのう、実はさ、結婚することになってさ。

田村 マジで!? やっぱり!?

敦也 え？

田村 いやもしかしたらそうかなって思ってたからさ。結婚？

敦也 うん。

田村 おめでどう（握手）。

敦也 ありがとう。

田村 敦也、結婚かあ。マジかあ。

敦也 うん。

田村 え、どんな人？

敦也 それが――

田村 ちよっと待って！ ……当てる。

敦也 いやあの。

田村 当てるから。……「それが」って言うってことは、俺の知ってる人か。

敦也 え？ ああうん。

田村 冴えてんなあ！ で、……年上やる。

敦也 いやうん、そやねんけどさ——

田村 やろ？ せやる？ 絶対そやって思った。敦也って昔から年上好きやったもんなあ。

敦也 そうかなあ。

田村 え？ ちよー待って。大学の劇団の先輩か？ ……え？ もしかしてミホさん？

敦也 違うよ。

田村 はい消えた。えー、おまえミホさんのこと好きやなかった？

敦也 ミホさん結婚してるやん。

田村 あ、そっか。いや俺もミホさんちょっと好きやって。なんか敦也と俺って、微妙に好み被ってるねん。俺が好きになりそうな人やる。

敦也 ……かもね。

田村 ……それはおまえから付きあおうって言うたん？ それとも相手の人から？

敦也 相手から。

田村 口説かれたわけ？

敦也 うん、この店で。

田村 へえ。まあ雰囲気ええもんなあ。……劇団の人？ それだけどっち？

敦也 劇団じゃないです。

田村 劇団以外？ えー。ってことは、ぎゅうすけ(焼肉屋…架空)の時のバイトの先輩か。

あの人？ 名前何だっけ、えー何やっけ。ほら、背の高いメガネかけたみたいな顔の。

敦也 みたいな顔？

田村 誰やったっけ、カシ、カシ……。

敦也 カシモトさん？

田村 カシモトさん。

敦也 違う。

田村 違う。いたなあ、カシモトさんて。えー？ ギゅうすけの人と違う？

敦也 うん。実はな——

田村　ちよー待って当てるから！ 当てるから！ 当てるから！ ホンマ言うたらあかん

で。ホンマ言うたらあかんで！

敦也　ええ？

田村　取り敢えずな、「それ言うたらわかる」って質問には答えんなよ。

敦也　うん。何でこんなことになってんねん。

田村　もしかして、×ついてる人とか？

敦也　それもそうなんやけど。

田村　バツイチ？

敦也　うん。

田村　そうなん？ ……子供は？

敦也　……おる。

田村　……そっか。まあ、最近はそういうのも珍しくないしな。うん。……その子供と

は会ったことはあんの？

敦也　うん。

田村　結構会ってるの？

敦也 そうかも。

田村 そうなんや。おまえに懐いてる？

敦也 懐いてる？

田村 あんまり？ 嫌われてるん？

敦也 いや、嫌われてはないと思うんやけど。今のところは。

田村 おまえには無関心？

敦也 今、めっちゃ関心持ってくれてる。

田村 良かったやん。話とか結構してるん？

敦也 してるかなあ。

田村 話しかけたら話してくれる感じ？

敦也 いや、結構積極的に話しかけてくれるかな。

田村 ほんならええやん。

敦也 ええんかな。

田村 その子は知ってるの？ 結婚の話。

敦也 再婚するってことは知ってる。

田村 そっか。おまえがお母さんの結婚相手やっていうのは、まだ？

敦也 ……うん。

田村 え？ でも結婚するってお母さんが言うたんなら、おまえが相手やって子供も気づいてるんちゃう？

敦也 ……いや。

田村 ほな、これから言うわけか。

敦也 うん。……これから言おうと思ってる。

田村 そっかあ。……俺ちよっと何か飲み物頼んで来るわ。

田村、退場。

男 (半笑いで) ややこしいことになってますね。だいぶややこしいことになってますね。

敦也 ねえ。

男 大丈夫ですか？

敦也 大丈夫じゃないです。どうしたらいいんでかね。

男 言うチャンスいっぱいありましたよ。

敦也　　そうですか。だってあいつ自分からハードル上げてくるんですもん。

男　　スツと言った方がいいですよ。

敦也　　そうですよね。あ、戻って来ました。

田村、酒を持って戻って来る。

田村　　チアーズ。おめでどう。

敦也　　ありがとう。

飲む。

敦也　　(言おうと) あの一

田村　　そっかあ。敦也も父親になるんかあ。

敦也　　いや、そういう感じやないねんけど。

田村　　いやいやいやいや。そういう感じやないっておまえ、それはあかんやろ。あのな、友達親子とかそういうの最近多いけど、普通の時はそれでもええで？　けどな、

その子に何かあった時にちゃんと父親としての役割を果たせるかってことや。

敦也 え？ ああ。いや、求められたらそういう覚悟はあるよ。

田村 求められたらとかやなくて。子供ってそういうの我慢してまうんやからさあ。そういうのちゃんと汲んだらんと。せやで。その子がな、道はずれそうになった時にやな、ちゃんとその子叱ったりできるか？

敦也 そういう状況はないと思うけど。

田村 そんなんおまえ言い切れへんやろうが。今まで他人やった人がやで、自分の親父になる言われてどれだけストレス感じるか。そういう部分に対してもっと想像力を働かせる必要があるって話や。

敦也 それはそうかな。

田村 ……子供も作るんやろ？

敦也、咽る。

敦也 いや子供は（流石に）。

田村 今は考えてないかもしれへんけど、いずれ作ろってなるかもしれへんやろ。そう

敦也　　いう時にその子と、生まれてくる子と、おまえ同じようにできるか？
 いや（あのホンマに言うた方がええって）。

田村　　いや？

敦也　　いやって、その「いや」やなくて。

田村　　覚悟はあるんか？

敦也　　……覚悟はあるよ。

田村　　そっか。（破顔し敦也の尻を叩いて）うん。おまえいい父親になれるわ。

敦也　　そっかな。

田村　　てか誰やねん。俺知ってる人でバツついてる人って。

敦也　　あの、言うた方がええと思うんやけど。

田村　　いやいや、当てたいの！　　こういうの当てたいの！

敦也　　ええ？

田村　　その人は俺がいつ頃出会った人？

敦也　　それは……。

田村　　え？　　それ言うたらわかってまうってこと？

敦也 たぶん。

田村 いつ出会ったか聞いたらわかる人？ 　いつ出会ったか聞いたらわかる人？
ん？ 誰やる？ その人と敦也が付き合ってるって聞いたら、俺がめっちゃびっ
くりするような人？

敦也 うん。

田村 付き合ってたどれくらい？

敦也 一年半くらい。

田村 へえ。当然もうHとかはやってるんやんな？

敦也 ホンマにちゃんと説明した方がいいと思うんやけど。

田村 当てたいの！ 当てたいの！ え？ 何？ Hしたとか言うの恥ずかしいんか。

敦也 声でかいって。

田村 年上ってどんな感じ？ いい？

敦也 何がい？

田村 何がって決まってるやんけ。Hがや！

敦也 いやもうホンマそいうのは。

田村 楽しませて！ こういうの最近ないねん！年上ってるいろいろ技とか知ってるん

ちやう？

敦也 だから声でかいって！

田村 (ニヤついて)んー。まあそっか。俺の知ってる人やもんな。それはそっか。……ケー

タイの待ち受けにしたりしてるん？

敦也 え？

田村 してるん？

うん。

田村 まだ見せんとってやー！ あ、じゃあさ、Hの話は聞かへんからさ、最初のキスは

どんな状況で？

敦也 いやホンマにさ。

田村 キスくらいええやないか。俺とお前の仲やろ。キスくらいええやないか！

敦也 声でかいって！

田村 キスくらいええやないか！

敦也 俺が迫られてるみたいになってるやんけ。

田村 それ知ったからって、俺がおまえの奥さんになる人と会ったときに、奥さん見て

ニヤニヤしたりせえへんから。

敦也 せえへんって！

田村 ようわかってるやん。

敦也 ホンマにこういうの聞いたってさあ。

田村 聞きたいの！ どうしても聞きたいの！

敦也 やめといた方がええって。ホンマに言わせて。

田村 言うなよ！ 俺が言っ*て*いいって言うまで絶対言うなよ！

敦也 ええ？

田村 言うたら俺結婚式で映画の『卒業』みたいに奥さん連れ去るからな。

敦也 いやいや、そんなことしたら、ホンマにわけわからん感じになってまうから。

田村 そのさ、おまえの相手の名前を聞いたら、俺、第一声どんな感じのこと言う？

敦也 第一声？

田村 うん。

敦也 「ありえへんやろ！」かな。

田村

ええ？ めっちゃレベル高いってこと？

敦也

んん？ そう言う人もいるかも。

田村

ええ？ 誰や。 ってことは、俺が一回会った程度やないってことやんなあ。 ええ？

誰や。 ……その人、何の仕事してるん？

敦也

言ったら田村わかると思う。

田村

ああ、でもわからんから言うて。

敦也

言うて。

田村

うん。

敦也

看護師。

田村

看護師？ 看護師？ 俺と敦也の共通知り合いで看護師？ 全然わからんように

なった。 そんな人、俺の知ってる人でおったか？

敦也

おるやろ！

田村

看護師かあ。 大変やで。 夜勤とかあるから。

敦也

うん。

田村

結婚しても働いてもらうん？

敦也 俺はどっちでもいいって言ってるんやけど。

田村 そっか。奥さんには敬語使ってるの？

敦也 え？

田村 タメロ？

敦也 うんゴメン。

田村 ん？ ……看護師かぁ。あれやってもらった？

敦也 あれって？

田村 家でナース服。

敦也 は？

田村 自分が起きられへんって設定で、訪問看護に来てもらったって設定でやな、「起きれますか？」「起きれません」で抱えられてる時にナース服の裾から手を……。

敦也 田村田村田村。

田村 まだか。これからか。これからか。

敦也 いやあ。

田村 どういうきっかけで付き合う感じに？

敦也 偶然コンパで一緒になって。

田村 コンパで？ コンパで再会してそこから急接近みたいな感じ？

敦也 うん。

田村 ええ？ 全然わからへん。もうええわ。降参。言うて。

敦也 言いづらいわ！

田村 え？ ……ごめん、ちょっとトイレ。……言う準備しといて下さい！

田村、退場。

男 いやあ。何て言えばいいのか。

敦也 ねえ。あいつアホでしょ。

男 大丈夫ですか？

敦也 大丈夫じゃないです。

男 言うしかないですよ。あとはもう言うだけですから。

敦也 そうですよ。言うだけになってますからね。

男 あ、こっちも来ました。

女、登場。

女 ごめんなさい。遅くなって。会議が長引いて。久しぶり。

男 久しぶり。こっちが呼んでおいて申し訳ないんやけど、実はこの後ちよつと用事が入ってもうて。取り敢えず用件だけ話させてもらって。行かせてもらうわ。

女 あ、うん。

男 実は、今度結婚することになって。

女 え、そうなんだ。おめでどう。

男 ありがとう。

女 そっか。よかったじゃない。

男 うん。で、まあ折り入って君に相談があつて。

女 相談？

男 うん。……実は、披露宴でスピーチをしてほしくて。

女 は？

……。

女 何で？

男 「何で」？ それはだって、一番お世話になった人やし。

女 いやいや。……披露宴のスピーチを元嫁がするって聞いたことなんだけど。

男 ……想像通りのリアクションやね。

女 じゃあ何で言うかな。

男 そこを何とかって思って。

女 いやいや。大体相手の方にはどう言うつもりなの？

男 言うてる。

女 言うてるの？ 彼女さんは何て？

男 是非って。

女 是非？ 是非？ ホントに言うてる？

男 え？ スピーチ嫌なん？

女 ……え？

男 ？

女 嫌っていうか、変でしょ。まずいでしょ。

男 その辺はちゃんとわかってもらえてるし。

女 わかってないと思うよ。向こうの親族とか、「何で？」ってなるよ？

男 何で？

女 何で？ 何で？ だって別れた嫁がスピーチって、まず説得力ないよね。

男 え？

女 結婚生活を送るにあたって、こういう風にしなさいって言ったところで、駄目になった人なんだから私。反面教師的になってこと？

男 そんなわけないやんか。

女 じゃあ、余興的な意味？

男 違っよ。何で余興なんよ。

女 余興じゃなかったら何？

男 スピーチやん。お祝いのスピーチ。

女 何それ、何喋ったらしいの？

男 そんなかしこまらなくてもぎっくばらんやってもらえたら。大した規模やないし。

女 友達メインで二、三十人でやるパーティーみたいなの？

男 来るのは百五十人くらいやけど。

女 めっちゃちゃんとした奴じゃない。私の時より多いよね。

男 向こうは初めてやから。

女 ええ？ いやいやいやいや。私も初めてだったんだけど。

男 やっぱり祝う気持ちなんか持てないってこと？

女 違うよ。お祝いする気持ちがないなんて言っていないよ。普通スピーチって上司とか先輩でしょ？

男 だから嫁の先輩として。

女 違う違う。意味が違う。職場の上司呼んでないの？

男 呼んでるけど。

女 じゃあ、その人でいいじゃない。お相手もスピーチは職場の上司に頼むでしょ。

男 そうやけどさ。別に気にせんでもええって。

女 そんなわけにいかないでしょ。相手の勤め先は？

男 銀行。

女 やめて。やめてよ。向こう銀行の上司が来るんだよね。

男 頭取。

女 何で頭取が来るの！ え？ 普通祝電とかでしょ！ 何で頭取が出席するの！

男 頭取って言ってもあれやで。別にメガバンクとかやないし。

女 ちっちゃくても頭取は頭取だよ。何で向こう頭取でこっち元嫁なのよ。

男 堂々としてたらいいねんって。こっちは元大蔵大臣なんやから（自分で笑う）。

女 ……面白くないわよ。一瞬わかんなかったわ。……え、相手の人って重役？

男 何でや。新人新人。

女 え？ いくつの人？

男 二十二歳。

女 えええ？ そんな若いの？ え、何で二十二歳の銀行員の披露宴に頭取が来るの？

男 さあ。向こうから出席したいって。

女 何それ。え、相手の方でもしかしていいトコの家の人？ 逆玉？ 旧華族とか？

男 九条とか、近衛とか。何て苗字？

坂口。

問。

女 え？ マジで？

男 うん。

女 ……よく私と同じ苗字の人と再婚しようと思ったね？

男 好きになった人がたまたま坂口やっただけやから。頼むわスピーチやってよ。

女 苗字同じ元嫁がスピーチって、絶対ざわざわってなるじゃない。

男 「坂口って多いんやな、ざわざわ」。

女 いやいや。とにかく元嫁と頭取じゃ釣り合いが取れないでしょ。

男 いいねんって。

女 向こうによくないって言ってるの。あなたの上司に頼みなさいよ。

男 嫌や。スピーチ下手やもん。絶対一回は噛むもん。

女 私を何だと思ってるの？

男 一生に一度か二度しかない披露宴やで？ 「この人のスピーチあんまりなあ」って

女 思う人に頼みたくないやん。

女 元嫁に頼むよりマシでしょうが。

男 どうしても無理？

女 無理。

男 じゃあ、お色直しの時に一緒に退場する役は？

女 いやいやいやいやそれこそまずいでしょ！家族みたいになってるじゃない。

男 家族やったやん。

女 普通、元嫁呼ばなくない？ 披露宴に。

男 それ言うたら、頭取かて嫁の元カレやしなあ。

女 ええ？ ……ちよつと飲み物頼んで来る。喉が……。

女、退場。

男 (敦也に) お互い大変ですね。

敦也 いやいや一緒にしないで下さい。こっちはおかしいのは状況ですけど、そっちは

あなたがおかしいですから。

男 いやいや、似たようなもんですやん。

敦也

いやいや。

男

一緒に乗り越えていきましようよ。

敦也

狂ってますねえ。

男

いやいや。あ、戻ってきました。

女、お酒を持って戻って来る。

男

チアーズ。

女

……。意図がわからないんだけど。え？ 何の目的で？ 私に恥をかかせたいか

ら？

男

頼める人がおらんからやん。

女

探してよ。いるよ絶対私より適任なのが。

男

おらんねんって。君みたいに喋りが上手い人はそうはおらんって。

女

期待値が高すぎる。

男

じゃあ、考えてた半分くらいの時間でいいから。十分くらいで。

女

何分喋らせるつもりだったの？

男 ……今やから言うけど。ホンマはな、僕が結婚するときに君にお祝いのスピーチ

をやってほしかったん。

…何を言ってるの？

男 まあ、最後まで聞いてよ。松田さんが結婚した時にさ、披露宴でスピーチしたやん。

友人代表で。

ああ。

男 あれに感動してん。笑ったし泣いたし。あー、この披露宴に出席した人はみんな

凄い場に立ち会ったなーって。ホンマに。で、その時な、自分が結婚する時も絶

対この人にスピーチ頼たいって思ってたん。せやのにさ、君と結婚することになっ

てもうたやん。

なってもうた？

男 君にスピーチやってほしかったのに、君と結婚することになってもうたやん。お

かしいやろ？ 友人代表で花嫁がスピーチしたら。

これ、ふざけてないとしたら何？

男 真面目なお願いやん。

女

スピーチ、最後にやったじゃない。

男

それはお父さんとお母さんにやん。しかもカンペ読んでたし。

女

手紙。

男

あの手紙もよかったけど、松田さんの時はホンマに凄かってん。あれをしてほしいねん。祝福のスピーチをしてほしかってん。あの時叶えられへんかったことを叶えるチャンスが来たってなったら、そら頼むでしよ。

女

離婚してから、更におかしくなった？

男

なってないよ。ふざけてるように見える？

女

(同時に) 見える。

男

あのスピーチをしてる君を見て、君のことが好きになっただくらいなんやから。でも、こうして別れてみて、ようやくわかったけどな。俺が好きになったんは、君やなくてあのスピーチやったんやなって。

女

んー。……え？ あの時、私、そんな感動する話した？ あの時、本当はカエデがスピーチやる予定だったんだけど、急に出席できなくなって。それで私が当日に頼まれて、それでお酒と緊張で、何言ったのか全く憶えてないんだけど。

男 あれ、当日に頼まれたんや？

女 うん。

男 ええ？ 今頃知る驚愕の新事実。やっぱりどうしても君に頼みたい。

女 何を喋るのよ。元嫁が。

男 何でもええって。縁起悪い言葉だけ避けてもらえたら。

女 無理だよ。……本当に私にさせるの？

男 頼むわ。

女 本当に私にさせるの？

男 ホンマ頼むわ。

女 (男に押されて) どうなっても知らないよ？

男 引き受けてくれるん？

女 まあ、そこまで言うなら。

男 ありがとう。よかった。向こうの両親も喜ぶわ。

女 どんな風に話してるわけ？ 向こうの家に。

男 松田さんの披露宴の時の話をしたんよ。そしたら話が弾んで。

女 そんな話したの？

男 うん。結納の時に。

女 結納の時に私の話をしたわけ？

男 自分からしたわけやないで？ 会話の流れ的にね。向こうも俺が何で離婚したか

女 とか気になったみたいで。

男 それは結納の前の段階で確かめておくもんでしょ。

女 よかった。あのスピーチをやってもらえるんやね。

男 同じスピーチを？

女 うん。

男 いやいや、憶えてないし同じスピーチなんてできないよ。

女 まあ多少の誤差は。

男 いや、全く覚えてないから。

女 大丈夫。僕が完璧に覚えてるから。

男 そこまで？ もうあなたがやったらしいじゃない。

女 僕は僕の友人じゃないから。

田村、戻って来る。

田村 さあ聞かせてもらおうか。誰なん？

女 あの時私、どんな話をしたの？

男 (女に) ちょっと待って (告白を見届けたいから)。

敦也 言うで。

田村 うん

敦也 千草さん。

田村 ん？

敦也 田村千草さん。

田村 ……それは、俺のおかんや！ (笑う)

田村、まだわかっていない。

敦也 ……。

田村 ……嘘やる!?

敦也 ……。

田村 マジで?

敦也 うん。

男 ごめん、もう行かな。ホンマにありがとう。また詳細おって連絡するから。

女 あの時私、どんな話をしたの?

男 「人生には三つの袋があると言います」

田村 お袋……。

男 (敦也に) じゃあまた。

男、店を出る。

女 ちょっと待って！ みんな知ってるからそれ！

女、男を追いかける。

田村 嘘やん。ありえへんやろ！ こっちの意味か！

敦也 ……。

田村 え、ちよっと待って。え？ 何これ。ずっと話してた、相手って。(おかん?) いやいやコンパっていうてたやん。おかんと敦也がコンパで？

敦也 うん。結構話が合うし、いいなって思っで。で、何回か遊ぶうちに、「ウチくる？」って言われて、「なんかこの家来たことある気がするなあ」って思ったら、おまえの家やっでん。

田村 ……。

敦也 こんな風に伝えるつもりやなかったんやけど。

田村 ……。

敦也 じゃあ、本題入ってええかな？

田村 本題？

敦也 披露宴で、友人代表でスピーチやってくれへんかな。

田村 ?

終わり。